

續者ニ限り勤務ノ成否ヲ參酌シ金參拾圓以上金五拾圓以下ノ退職手當ヲ支給シ以後一ケ年ヲ増ス毎ニ金五圓也宛ヲ加算支給ス

此場合ハ雇主ト職工協定ノ上定メタル醫師ノ診斷書ヲ要ス

第六條 職工ハ繁忙期間中特別ノ事由アル場合ノ外ハ退職シ得ザルモノトス

第七條 本協定前ノ勤續年數ハ五ケ年ヲ一ケ年トシテ計算スルモノナリ

第二章 扶助

第八條 業務ノ爲メ負傷ヲナシ職ニ堪ヘザル者ト認メタル者ニハ療養期間廿一日ヲ限度トシテ組合協定賃金ヲ一日ニ一人前宛ヲ支給シ且ツ雇主ハ藥價ヲ負擔ス

第九條 病氣ニ罹リ療養五日以上ニ渉ル時ハ六日ヨリ起算シテ療養期間内尙三十日間ハ組合協定賃金ノ半人前宛ヲ支給ス